

監視するフォルダーを登録します(図4)。

フォルダーを登録したら、監視する時間の間隔を設定して「監視開始」をクリックすれば、フォルダーの監視が始まります(図5-①)。設定画面で「サブフォルダも監視」のチェックをオンにすると、サブフォルダーも監視対象になります(図5-②)。

「フォルダ監視」が起動している間は通知領域にアイコンが表示され(次頁図6)、アイコンをダブルクリックすれば設定した時間感覚とは関係なくすぐにチェックできます。

もし監視しているフォルダーのファイルが変更されると、「フォルダ監視」の「変更ファイル一覧画面」が表示されます(次頁図7)。画面にはファイル名、更新日時に合わせて、「備考」欄に追加や更新などファイルがどのように変更されたか表示されます。もしこのファイルを開いて編集したい場合は、ファイル名をダブルクリックします。ファイルを選択して、画面下の「フォルダを開く」や「ファイルを開く」をクリックしてもそれぞれ開くことができます(図7-①)。

なお別の作業に集中しているときなど、監視を一時的に停止したいときには、通知領域のアイコンを右クリックして「監視の一時停止」を選択します(次頁図8-①)。これで登録しているフォルダーの監視を一時停止します。また「フォルダ監視の設定」(次頁図8-②)を選択して設定画面を表示し、登録しているフォルダーのチェックをオフにすると(次頁図9)、フォルダー毎に監視の一時停止を設定できます。

ファイルの種類を指定して監視

共有しているフォルダーに保存されてい



図1

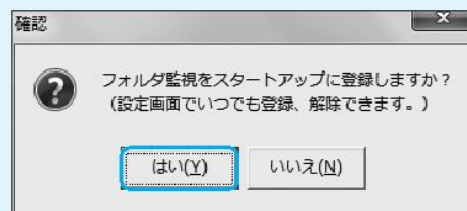


図2



図3

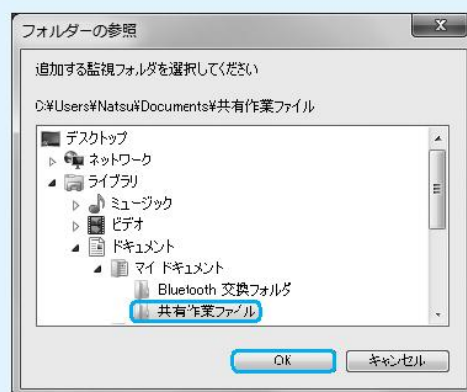


図4



図5